

ごあいさつ

平成27年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択された「静大発“ふじのくに”創生プラン」も5年目の最終年度を迎えました。本事業の開始時より、本事業に参画いただいている事業協働機関の皆様を始め、県内外の関係機関様、また地域の皆様におかれましては、本事業へのご理解、また様々なお力添えをいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

さて、本事業は若年層の流出という課題に正面から向き合い、地域社会活性化のための施策に取り組んでいくことを目標としていますが、本事業を進める中でその成果が少しずつ出始めているところです。

教育の分野においては、今年度に完成年度を迎える全学学士課程横断型教育プログラム「地域創造学環」を始め、平成29年度からスタートした地域創造学環の科目を他学部でも受講できる「地域づくり副専攻」の拡充、本学の「地域志向科目」および「キャリア形成科目」の平成30年度入学者からの必修化の実施、平成30年度から開講した修士課程を対象とした「産業イノベーション人材育成プログラム」の推進等において大きな進展がありました。

また、就職支援・インターンシップの分野においては、県外参加校と連携した県外生のU・Iターン就職を強化する取組、保護者向けに本県で働くことの魅力を発信する就職セミナーの開催、自治体・経済団体と連携して本県で活躍する社会人と学生との出会いの機会を創出し、インターンシップの事前事後指導に社会人メンターとして協力いただく等、事業協働機関と密な連携を図り、事業の取組みの幅もますます広がりを見せているところです。

本事業はこれまで静岡県ならびに静岡市、浜松市をはじめとする県内35市町すべての自治体及び50余の経済団体・企業等に事業協働機関として参画いただいているほか、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、沼津工業高等専門学校の県内国公立高等教育機関、電気通信大学、東海大学、愛知学院大学という県外の大学にもご協力をいただいております。このような多様なステークホルダーと協働していくことで、この静岡県の将来を担う若者が県内で活躍できる環境の実現を目指しております。今後とも本事業に対する皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



静岡COC+連携協議会会長
静岡大学長

石井 潔